

2024年 甲辰(きのえ・たつ)年 「活力あふれる年に」

第9号

教育委員会
たより

文責
伊平屋村教育委員会
屋比久健太郎



令和六年 新年のあいさつ

教育長 与那覇了

あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えの事とお慶び申しあげます。

旧年中は本村教育に多大なるご支持ご支援を賜り、衷心より感謝を申し上げます。

今年(甲辰)は、「甲辰(きのえたつ)年」です。「甲辰」は、生命や物事の始まりを意味し、草木が伸長し、形が整い、活気にあふれる年になるそうです。

伊平屋村は、古生代にさかのぼる島の生い立ちや、天照大御神伝説「クマヤ洞窟由来」、「ウタキ」崇拜等の祭祀を司る祝女(ニギハヤヒ)の存在は、県内有数の神の島として知られています。また、「念頭平松」・「ウバメガシ群落」の二つも国指定天然記念物に指定されているのは、本村の誇りです。

昨今の地球を取り巻く環境は厳しさを増しています。地球温暖化による海面上昇による被害やマイクロプラスチック等による海洋汚染は近い将来海洋生物よりプラスチックの量が多くなるとの予想もされ危機的状況です。さらにロシアのウクライナ侵襲、パレスチナ問題等世界情勢の激変によりエネルギーや食料価格等の高騰さらに社会の分断など改めてグローバル社会の一員であることを思い知らされました。

私たち人間は、自然の一部として自然と向き合いながら生きてきたものと思います。自然豊かな環境や平和な社会を守り続ける使命観を持ち次世代につないでいきたいものです。

一方、科学技術の進歩により、人工知能(AI)があらゆる産業や社会生活に取り入れられ、さらに「対話型AI」は人との会話をとおして文章の作成や質問に対してのアドバイスも行う等飛躍的に進歩し、社会の在り方そのものが劇的に変化していく超スマート社会(Society5.0)の到来が目の前に来ています。

人々の価値観が多様化している今日において、一人一人の「違い」を尊重し、様々な人々と協働して、すべての人が自分らしく幸せに生きることが出来る社会を創っていくことが求められています。持続可能な社会に向けては、すべての人が年齢や環境に関係なく、「学ぶ機会をもち」、「学びが面白い」と感じながら、自ら学び続けることが必要です。

本村教育委員会は「伊平屋村教育振興基本計画」を作成し教育理念を「ひろがりつながり」ともに学ぶ「伊平屋の島発ち教育」を掲げ、「島発ち教育」を学校・家庭・地域・行政が一体となって、子どもたちの学びを支え、子どもも大人も生涯において学び続け、よりよい社会の創造に寄与し、自ら学び育つ「人間力」の育成を目指します。また、「視野は世界、視点は郷土」のテーマの下、島で生まれ育った誇りを胸に、どこにいても島に思いをよせ郷土の文化継承・発展への一翼としての自覚を持つことが島発ち教育の礎です。県内はもとより広く国際社会に雄飛し、併せて、島の未来を創造できる教育を強力に推進しなければなりません。

生涯学び続ける生き方が出来るよう環境整備をし、老いも若きもともに学び合い、支え合う活力に満ちた地域活動を推進し、「安心・安全・平和」な村民主体の生涯学習社会を形成していく必要があります。

「教育は社会全体で育むもの」という思いのもと、これからも学校・家庭・地域・行政が一体となり協働して島の教育に取り組んで参りましょう。

新しい年も本村教育委員会は子どもたちの「活力あふれる年」となれるよう邁進してまいります。村民の皆様にとりましても明るく幸多き一年でありますことを祈念して新年のごあいさつといたします。

はたちのついで・トリムマラソン・沖縄燦燦・境港交流



令和6年 はたちの集い



トリムマラソン



沖縄燦燦とコラボ演出



境港へ向かう児童